



資料提供
平成28年8月30日
課名：がん対策課
担当者：佐矢野，福田
内線：3063
直通電話：082-513-3063

本日からスタート！県と市町が協力しあなたにがん検診を勧めます！
協会けんぽ加入者の被扶養者の方への受診勧奨が始まります。

全国健康保険協会広島支部（以下「協会けんぽ」という）、前年に協定を締結した広島市を除く県内22市町、広島県の3者で6月30日に締結した協定に基づき受診勧奨がスタートします。

協会けんぽの被扶養者は、女性や若年層の方が多く、サラリーマン等の被保険者に比べてがん検診の受診率が低い現状です。

このような中、全国初の取組として、県内全市町で協会けんぽ加入者の被扶養者に対する個別受診勧奨を実施する体制を整えました。一人でも多くの方にがん検診を受診していただきと考えています。

県が「広島県がん検診啓発特使」のデーモン閣下がデザインされたハガキを市町に提供し、市町から検診日程等の情報を入れて発送します。

今後とも市町や関係団体と協力して、がん検診の受診率向上に向けた取組を推進します。

○市町からのハガキ送付日程（第一弾）

8月に次の日程で閣下がデザインされたハガキを送付します。

発送日	実施市町（発送件数）
8月30日	竹原市（約650件）、尾道市（約4,000件）、三次市（約1,250件）東広島市（約2,150件）、世羅町（約500件）
8月合計	5市町（約8,550件）
9月	三原市、府中市、廿日市市、安芸高田市、坂町、大崎上島町

※これ以外の市町については、準備ができ次第、順次送付します。

閣下がデザインされたハガキ等が届きます



○市町による受診率向上に向けた主な取組

各市町では、女性が受診しやすい環境づくりを進めるとともに、大学等と連携して若年層の受診勧奨を行っています。

実施市町	独自の受診勧奨の取組
竹原市	・女性専用の検診日を設け、検診を担当する医師は女性とする等、女性が受診しやすい環境づくりを推進。
尾道市	・医療機関を訪問し、がん検診の受診勧奨について、実施を依頼。 ・地元の尾道市立大学で講義を行い、若年層へのがん検診の啓発を実施。
三次市	・託児の希望があれば、すべての検診日に対応するなど女性が受診しやすい環境づくりを推進。 ・市職員にがん検診推進に関する研修を実施し、市民に対して電話応対時に積極的な受診勧奨を実施。
東広島市	・女性専用の検診日を設け、女性特有のがん検診については受診料を無料とする等、女性特有のがん検診の受診を推進。
世羅町	・女性専用の検診日を設け、スタッフを女性とするなど、受診しやすい環境づくりを推進。 ・町と提携している広島大学において町職員ががん検診等に関する講義を実施。 ・過去受診者に対して電話勧奨を行う等、より効果的な取組を実施。

協会けんぽ加入者の被扶養者に対する受診勧奨の概要

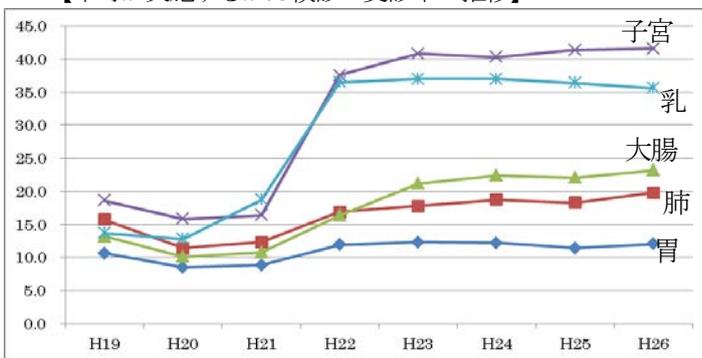
がん対策課

1 現状

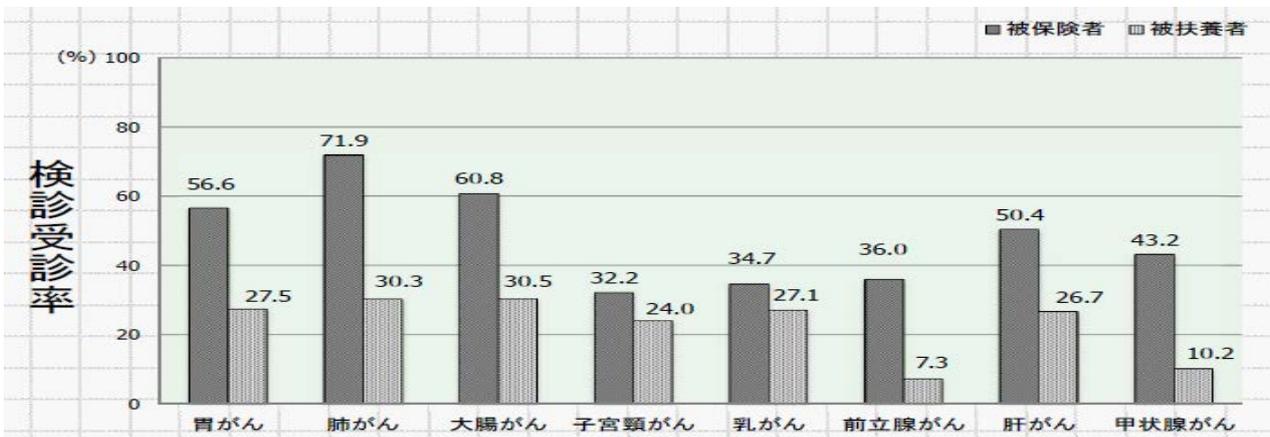
県内のがん検診受診率については、すべての市町で、県による支援メニュー等を活用し、個別受診勧奨を実施しているが、平成 22 年以降、微増又は横ばいが続いており、効果的な手法による受診率向上対策を行う必要がある。

また、市町が実施するがん検診の対象者の内、40%に当たる職域の被扶養者に対しては、市町において該当者が特定できないため個別の受診勧奨が行き届いていない状況である。

【市町が実施するがん検診の受診率の推移】



厚生労働省 「がん検診に関する実施状況等調査」 (H27. 12~H28. 1 調査)



被扶養者は被保険者に比べて、がん検診の受診率は低い。

3 実施する事業

○ 協会けんぽ加入者の被扶養者への受診勧奨

市町は、これまで市町国保加入者を中心に受診勧奨を実施してきたが、職域の被扶養者の受診率を向上させるため、協会けんぽから協会けんぽ加入者の被扶養者データ（提供対象者数 136 千人）の提供を受け、がん検診や特定健診の未受診者等に対し個別に受診勧奨を実施する。